

令和8年度なは市民協働大学 開講式



なはセン通信

Vol.120

2026年
8月号

目次

なは市民協働大学	P.1
那覇市版SIB出資説明会	P.2
なは市民活動支援事業	P.2
松島中学校総合的な学習	P.3

問い合わせ

なは市民活動支援センター

098-861-5024

C-KATU005@city.naha.lg.jp

過去の記事



なは市民活動支援センター
ホームページQR

第16期生が学びをスタート

7月18日(土)なは市民活動支援センターにて「令和8年度なは市民協働大学 開講式」が執り行われました。

令和8年度のテーマは、
【話す！つながる！動き出す！災害に強いまちをつくらう 求む！未来の防災リーダー】です。防災を切り口に那覇市における地域づくりについて約半年間共に学びます。

前半は、知念覚学長（那覇市長）よりあいさつがあり、「ぜひ楽しみながら受講してください。本学を通じて、地域の防災リーダーが誕生すること期待しています。」と受講生にエールが送られました。

後半では、昨年度と同様にFC琉球（面白法人カヤック）

によるブレインストーミング体験（以下、ブレスト体験）を行いました。

ブレストとは、1953年にアレックス・F・オズボーン氏が提唱した会議形式であり、たくさんアイデアを出すための発想法の一つです。

開講式では、この手法をもとに、FC琉球（面白法人カヤック）が開発した独自のカード（ブレストカード）を用いて、受講生が自然と仲良くなる仕掛けとして、令和7年度からは市民協働大学で活用しています。今回もブレスト会議を通じて、受講生同士が徐々に打ち解けていき、多様なアイデアが発言されていく姿がとても印象的な時間となりました。

ブレスト体験では奥武山に建設予定のサッカースタジアムを

活用した「新スタジアム×楽しい防災イベント」というお題のもと、各グループから「防災フェス」や「防災運動会」、「FC琉球の選手とコラボした津波避難ゲーム」、その他「大声大会」など、被災時に役に立つノウハウを取り入れた防災イベントのアイデアで溢れました。

最後に、来賓の那覇市協働によるまちづくり推進協議会の城間会長から「修了式までの皆さんの変化を心待ち、また会えることを楽しみにしています！」と、励ましのお言葉をいただきました。



令和8年度那覇市版SIB出資者説明会

7月5日(日)なは市民活動支援センターで「なはSDGs推進事業那覇市版SIB(SIBプロジェクト)」の出資募集説明会が開催されました。

この事業では、市民の皆さん、事業者の皆さんに、まず地域の課題について一緒に考えていただく機会を持ち、市民活動団体の地域の課題解決に向けた取り組みに共感したときに、その団体の活動を「出資」という形で応援してもらおう仕組みです。市民活動団体はその出資金をもとに、成果目標を設定して地域の課題解決に取り組み、最終的に成果目標が達成されたと認められた場合に、市がその出資金を出資者の皆さんにお返しする仕組みとなっていて、成果に連動した資金支援となっています。

説明会では、「なはSDGs推進事業」の概要説明と、出資の仕組みと手続きの方法、最後にプロジェクトの採択団体による事業紹介と、事業伴走者のコメントが共有されました。

昨年度は、この事業の一期生となる一般社団法人琉球フィルハーモニックが「若狭公民館発 吹奏楽を通じた地域クラブモデルづくりプロジェクト」、労働者協同組合ワーカーズコープセンター事業団沖縄事業所が「真和志地域における多世代コミュニティづくりプロジェクト」をテーマに掲げて、初めて実際に出資募集を行っています。

市民のみなさんの温かい応援の元、2団体ともに成果目標を達成することができました。

そして今年度は、特定非営利活動法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆいが「若者が『自分で決めて過ごす』ミニマムなユースワーク実践事業」「誰かの決めたもの」から離れる、『余暇・余白・ゆとり』の場づくり」をテーマに掲げ、出資募集を行っています。

忙しい毎日の中で、地域の課題は見過ごされがちですが、SIBを通して「出資」という形でご支援いただくことで、一緒に課題解決の歩みを進めることができます。本事業への皆さんの応援をお願いします。



en.try ページ詳細



なは市民活動支援事業採択団体一覧

コース	No.	団体名 (五十音順)	事業名	交付額
スタート	1	アトリエまちのたね	ユース居場所づくりと若者と地域のマッチング事業	200,000円
	2	OICC (沖縄県島嶼コミュニティ)	避難所運営体験プログラム	200,000円
	3	綾門大綱復活を目指す準備会	綾門大綱復活を目指す準備会	200,000円
	4	小禄支所通り祭り実行委員会	小禄支所通り祭り	200,000円
ステップ	5	KARIE	ここママおきなわ	500,000円
	6	一般社団法人TeamSUBAKO	こどもたちの「できた!」から「次はこれをしたい!」が生まれる居場所	500,000円
	7	依存症リカバリーサークル	つながる相談会ー孤立しがちな依存症当事者や家族、特に配偶者の依存症問題を抱える子育て世帯などが支援者となつながら託児付き依存症相談の場づくり事業ー	460,00円
	8	NPO法人こどもの権利ネットワーク沖縄	「権利ってなに?」から始まる、自分たちの声を形にする「こどもの権利かるた」制作・交流事業	489,000円
	9	一社) ゆいまーるの会	ゆいまーる事業	500,000円
	10	沖縄自然環境ファンクラブ	末吉公園「いま」と「これから」プロジェクト-那覇市の貴重な自然の持続的な利用を考える-	435,000円
	11	おもろまち自治会	「おもろまち」をもっと「おもろい! まちに」プロジェクトseason2	500,000円
	12	特定非営利活動法人 あごらびあ	駄菓子屋大作戦	500,000円
	13	株式会社 琉球トラスト	新聞紙を活用したエコバック作りと高齢者生きがい創出・環境学習事業	288,000円
協働	14	ステラヘルスジャパン株式会社	那覇市の働き盛り世代健康課題解決プロジェクト	28,000円

地域を知ることが、地域を好きになる第一歩

松島中学校3年生が自治会活動を学ぶ

6月19日、松島中学校において、3年生を対象とした総合的な学習の時間「HAPPY LIFE PROJECT」のなかで、「自治会講話」が開催されました。

松島中学校の3年生を対象に地域の歴史や自治会活動について学ぶ講演会が行われ、講師として、わかあゆ自治会の大湾会長、宇久増自治会の照屋氏、銘荊新都心自治会の前原会長、おもろまち自治会の池原氏、古島・松島自治会の西平会長、末吉町自治会の玉城会長の6名が登壇されました。

大湾会長からは、松島中学校周辺におけるこども会・自治会の立ち上げから、活動内容や変遷・自治会名の由来について、照屋氏からは、自治会の活動内容をはじめ生徒の皆さん一人ひとりが今できることや、これらの自治会を担う子どもたちに向けたメッセージがありました。

次に、前原会長からは、新都

心地域の自然や古くから伝わる「はごろも（天女）伝説」を語り継ぐことの大切さからはじまり、住みよいまちにするための考えとして、銘荊地域の「3つの宝」として「5つの柱」を守ることについて触れられました。「3つの宝」とは、①組踊「銘荊子」の舞台であること②都心でありながら大自然を有していること③住みよい地域をつくる人材がいること、また、「5つの柱」については、①安心・安全なまち②美しい・きれいなまち③地域の人を知っている・つながっているまち④楽しい・ワクワクするまち⑤地域のことを知る機会があるまち、と説明がありました。

池原氏からは、おもろまちの人口推移や人口が増加傾向にあるものの自治会加入率が少ないという現状に触れ、いざという時に助け合える繋がりづくりの取組みとして、自治会のお祭りや防犯のため保安灯設置について、子ども達にも分かりやすく写真や資料をも取り入れながら話がありました。

西平会長からは、会長自らが舞

台プロデューサーとして関わっている演劇で、月2回無料の演技レッスンを開催し、演劇ワークショップやクラブ活動も展開しています。講話では、その演劇に携わっている松島中の生徒たちの話も交えつつ、松島自治会がテレビ取材された時の映像なども流されました。

最後に玉城会長からは、地域の安全・安心のために日頃から実践している地域のつながりについて、自治会に古くから伝わる獅子舞の無形文化財「エイサー」など沖縄の文化について話がありました。



今回の学習は、「地域を知ること」で郷土愛を育み、自分自身のアイデンティティについて考えてほしいという学校側の思いから企画されたことです。

生徒からは「地域のことをもっと知りたい」「自治会活動に参加してみたい」といった感想も聞かれ、地域への関心が高まる学びの機会となりました。



なは市民活動支援センターについて



◆利用ご希望の方へ

なは市民活動支援センターの会議室等を利用ご希望の方は、「**利用登録**」が必要です（※利用審査があります）。
右のQRコードより利用方法をご確認ください。



◆施設利用料金

※1時間当たりの料金
※オンライン機材貸出可

	定員	面積	料金	冷房
会議室①	84人	約200㎡	1300円	400円
会議室②③	80人	約200㎡	1300円	400円
会議室③	30人	約100㎡	650円	200円
会議室④	8人	約40㎡	200円	100円
会議室⑤	12人	約30㎡	200円	100円
会議室⑥	12人	約30㎡	200円	100円
会議室⑦	5人	約30㎡	200円	100円
会議室⑧	20人	約45㎡	250円	100円
研修室①	16人	約30㎡	200円	100円
研修室②	16人	約30㎡	200円	100円

◆開館時間、休館日

月・火・木・金	9:00-21:00
水・土・日・祝日	9:00-17:00
休館日	年末年始・慰霊の日

◆駐車場

なは市民協働プラザ地下駐車場（駐車台数：39台）
メカルパーキング（駐車台数：70台）
※なは市民活動支援センターをご利用の場合、駐車料金は減免の対象となります（例：2時間100円、3時間200円）

フードドライブ

フードドライブとは、お中元など、ご家庭で賞味期限は切れていないが保管されたままになっている“もったいない食料品”を、なは市民活動支援センター利用登録団体・女性支援・子ども食堂を運営している団体へお渡しする活動です。

「もったいない」から「ありがとう」へ変えていきませんか？



◆注意いただきたいこと

- 賞味期限が明記され、かつ6か月以上あるもの
- 常温で保存が可能なもの
- 未開封で、中身に問題がないもの

◆寄付いただきたい食料品

お米、乾麺、缶詰、瓶詰、インスタント食品、レトルト食品、保存食（防災食）など



今月の開催日は、

8月8日 土

11時～15時



@なは市民活動支援センター
1階ピロティー



毎月第2土曜日は、なは市民活動支援センター1階ピロティーでつながるマーケットを開催！

県内中から美味しいものやてしごとが銘苅に集まります。
家族・ご友人を連れてぜひご参加ください。

那覇市ボランティアまっちゃんぐ

那覇市まちづくり協働推進課
なは市民活動支援センターG
ボランティア担当
竹尾・新垣まで

☎ 098-861-5024

✉ C-KATU005@city.naha.lg.jp

